

お便り紹介

第9号にいただいたご意見を紹介します。今回から当選者が10人になりました。たくさんのご応募お待ちしております。

子どもと楽しく「ご当地クイズ」を考えています。現在使うコトバもあれば驚く言葉もあります。いつも忙しい、忙しいと、子どもたちとの会話もままならない日々なので、家族団らんになって楽しいです。
(さくら市 Nさん)

私も、「宮沢賢治のような誠実な人間になりたい」と願っていますがなかなか…。「コンビニで赤面」私も見たことがあり、ぞっとしました。恥ずかしいですが「区分陳列の識別マーク」がある事をはじめで知りました。種々勉強になる事がたくさんあって、これからもずっと読み続けたいと思います。
(さくら市 Oさん)

孫の予防注射につきそって行った病院で、夢咲楽～和輪話通信～を読みました。若者がいきいき活動している様子、とてもすばらしいと思います。
(日光市 Tさん)

ゲームリテラシー教育はとっても気になる話題です。私たち30代の親はゲームをする機会がありますが、子ども(3才)が見たりすると“死”とかが出てくると本当の出来事だと思ってしまうので、子どもの前ではあまりゲームをしないように気をつけたいと思います。
(さくら市 Iさん)

表紙に息子の友達がのっていたので、とても親しみやすくボランティアに参加してみたいと思いました。また、メールは相手の気持ちを考えながら使いたいと思いました。
(さくら市 Kさん)

ご当地クイズ



とちぎの方言聞いたことありますか？

方言と標準語をつないでみよう。

パート4

とちぎの方言

1. くっちゃべる
2. ボーデンキ
3. つっぱいる・つPPER
4. かっチャがむ
5. 大根ずり
6. ひやす
7. かっちらかす
8. しっちなねる・ちんにぐる
9. ひんぬく
10. まみげ

標準語

- A. つねる
- B. まゆげ
- C. 水に浸す
- D. 懐中電灯
- E. たわいもない雑談・おしゃべり
- F. 散らかす
- G. 引き抜く
- H. しゃがむ
- I. 大根おろし
- J. (水溜りなどに)落ちる

この問題がわかった方はハガキに問題の番号と答えと、この広報紙の感想を書いて市青少年センターまでお送りください。(4月30日消印有効)答えをくださった方の中から抽選で10名様に「図書券」をプレゼントいたします。
(クイズの正解は5月中旬過ぎに青少年センターHP[市HPからリンク]、喜連川・氏家公民館の掲示板で発表します。)

クイズの答え(例)

- 1-A
- 2-G
- ...

第9号の当選者発表

- 石川 晃代様 (氏家)
- 印南 奈緒様 (氏家)
- 江面むつみ様 (押上)
- 小川キ又工様 (上河戸)
- 小西由美子様 (喜連川)
- 木村由美子様 (草川)
- 小口 信子様 (喜連川)
- 齋藤ナミ子様 (向河原)
- 綱川 祐希様 (卯の里)
- 手塚 麗子様 (日光市)

あとがき

記念すべき10号発行となり大変うれしく、関係者・読者の皆様のご指導ご支援のおかげと感謝いたしております。今回は「自転車泥棒」をシリーズで企画しました。子どもたちの周りに起きている身近で深刻な問題にスポットをあてました。些細な事と考え、知らず知らずに悪いことをしてしまい、後々心の傷になることも少なくありません。そうならないうちに…。そんな思いを込めて親と子が向き合い話し合うきっかけになるシリーズにしたいと思っております。

子どもたちの目線にたつて問題提起をしていきますので、今後とも夢咲楽～和輪話通信～をご支援ください。

広報啓発班 見目春江



日光アイスバックス選手と楽しく遊ぼう!滑っちゃおう!

夢咲楽

～和輪話通信～

| | | |
|----|-------------------|------------------|
| 目次 | お母さんと一緒……………1 | 少年指導員会活動報告……………3 |
| | 自転車泥棒……………2 | お便り紹介……………4 |
| | マスミ先生のワンポイントアドバイス | ご当地クイズ |



お母さんと一緒
野口 雨情
おもちゃの手桶を
買って来た
おもちゃの手桶で
なに汲んだ
お母さんと一緒に
水汲んだ
おもちゃの箒で
なに掃いた
お母さんと一緒に
庭掃いた

私たち大人は子どもたちに教え、指導するという立場にこだわりすぎてはいないでしょうか。時には童心にかえり、子どもたちと一緒に何かを行うことが、子どもにとっても大人にとっても大切なのではないかと思います。そして、同じ体験を通して結ばれた絆は私たちの社会をやさしさを満たしてくれるのではないのでしょうか。

青少年センターがみなさんにお届けしている「夢咲楽」和輪話通信も今回で第10号となりました。

わわわ隊(さくら市青少年センター)少年指導員会ではこれからも地域の方々と一緒に子どもたちを支える活動を続けていきたいと考えています。

さくら市青少年センター
少年指導員会会長 岡 一雄

次のゆめさくら～わわわつうしん～は7月上旬に発行予定です

自転車泥棒



皆さんにはこんな経験がありませんか？
 いざ帰ろうとして「あっ！自転車が無い！」
 「どこに行ったんだろう？」
 「誰が持って行ったんだろう？」
 必死に探し回っても出てこなくて、
 「今日はどうやって帰ろう」
 「明日からどうしよう…」
 真っ暗な中で、途方にくれたことはありませんか？

我が家の息子も5回自転車を盗まれました。その度にあちこち探し、警察に被害届を出しました。幸い毎回、自転車はみつかりましたが、とても大変な思いをしました。いったい、なぜ何度も盗まれるのか？どうすれば盗まれないのか？氏家駅前交番でお話をうかがって来ました。

- Q** こんには、自転車を盗まれないようにするにはどうすればよいのですか？
A 盗まれる自転車は、鍵をしていないケースがほとんどです。急いでいても、必ず施錠するようにしてください。またツーロック(鍵を二つ付ける)はとても有効です。
Q 防犯登録はしたほうが良いのですか？
A はい、してください。法律で義務付けられています。
Q 被害届を出すと、自転車は見つかりますか？
A 「ちょっとそこまで借りる」くらいの気持ちで持ち出された自転車は、目的地近くで乗り捨てられていることが多いので、届出が出れば戻ってきます。

朝、警察官の方がパトロール中に、鍵をかけずに自転車を置いていく高校生に注意をすると「電車に間に合わない」とそのまま行ってしまふこともあるとか。それでは「持って行ってください」と言っているようなものですね。後で困らないように、ツーロックできるくらいの余裕を持って家を出しましょうね。

わわわ隊 加藤朋子

ケータイを安全に使うための マズミ先生のワンポイントアドバイス

今回は、ネットゲーム依存症のお話です。



最近のネットゲームは、リアリティがあって面白い。はまりますよね。でも、ちょっとここで一休み！

ゲームに夢中になりいつの間にか「依存症」、「ネトゲ廃人」、最後には「過労死してしまう」こともあります。本当のお話です。生活のリズムが乱れ、体調が悪くなり、学校や会社に行けなくなった人もいます。成長期の児童・生徒のみならず「依存症」になったらとても危険です。

ネットゲームで注意すること

- ◆ 会員登録など個人情報を書き込む時は、必ず保護者が立ち会いましょう。
- ◆ 時間を決める・ゲーム中に気分転換をする。
- ◆ ゲームサイトに「悪意を持った大人が巧みに入り込んでいるかもしれない」という意識を持ってください。
- ◆ ケータイ使用料金請求が極端に上がっていたら要注意です。無料サイトでも、パケット料金は無料ではありません。

最後にケータイ以外のゲーム機においても使用時間が長くないよう、気をつけましょう。

少年指導員会活動報告

わ'のつながり

体験活動班 班長 加藤有希

私たち体験活動班は、ひとりでも多くの子どもたちの笑顔に触れ合い、そして子どもたちの心に何か残るような企画を考え活動してきました。様々な体験をすることによって、子どもたちが地域の人々と接し、話をするきっかけになっていたら嬉しいです。

計画・下見・準備等をしていくうちに、私たちも、ひとつの輪となりました。また、ひとつひとつの活動にたくさんの方々のご協力をいただき、本当に感謝しております。

子どもたちが大人になった時に少しでも何かの役に立つことが出来たら!!それが私たちの一番の思いです。

ネット・携帯の危険性を啓発

ICT研究班 班長 田代真澄

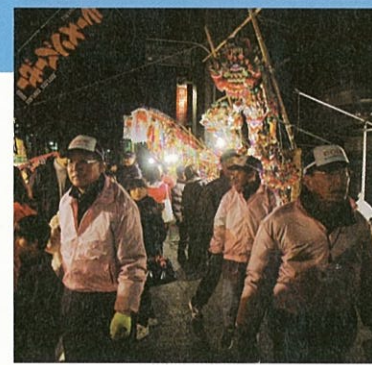
インターネットで広がる世界、そこがネット社会です。便利なサービス、世界中の人々とのコミュニケーションなど、魅力がいっぱいの新しい世界があります。しかし残念ながら、そこでは危険なこともあります。安全で快適に過ごすためには、注意も必要です。

「ICT研究班」は、日常の社会生活の常識に、ネット社会の常識をプラスして、トラブルをさけ安全に過ごすための考え方やノウハウを研究し、子どもたちと共に市民の方々にも使っていただける学習教材を作成しました。多くの子どもたちがネット社会の過ごし方を学び、やがて住みよいネット社会を築く賢い市民に育つことを願っています。

街頭巡回活動

わわわ隊 福田克之

わわわ隊(さくら市少年指導員)では、青少年のために声かけ活動を中心とした街頭巡回活動を実施しています。私たちは、青少年が地域社会で活躍するのを望み、ずっと応援し続けたと考えています。



子どもたちの健全育成にむけて

研修班 班長 中谷 清

私たち研修班の活動は、子どもたちの健全育成のために少年指導員の研修を初めとして、市民向けセミナーや他市の少年指導員との交流・意見交換などの企画実施を行っています。

昨年9月に「さくら市の子どもについて考える会～子どもを見守る防犯研修～」を開催し参加者の皆様から「子どもたちの防犯に大変参考になりました。」と感想をいただきました。

今後の活動としては、児童センターや子供会連合会等の協力も含め、さくら市の子どもたちのために幅広い活動を行いたいと考えています。

「夢咲楽～和輪話通信～」に思いをのせて

広報啓発班 班長 森山京逸

広報紙を年3回、発行致しております。各号の発行日に向け編集会議を開き、コンセプトやテーマを決めたり、記事情報の収集役割、紙面構成など全員で真剣に検討して編集し発行致しております。

青少年が、地域の歴史、文化に親しめる街中の紹介や、少年指導員のレポーター活動も積極的に行い一緒に話し合い、交流し、「まちの声」「若者の声」「子どもたちの声」もしっかり受止め、「未来にはばたけ!さくらの子」と青少年の健全育成に役立つ「夢咲楽～和輪話通信～」を発行し、啓発活動も実施したいと考えております。